

## 凡 例

1. 本書は、報告および質疑応答、引用文献目録、満鉄調査関係者人名録の3部で構成されている。
2. 報告および質疑応答の部は、第1編「初期調査活動」、第2編「満洲における調査」、第3編「華北における調査」、第4編「華中における調査」、第5編「調査組織」、第6編「調査部論」の6部の編成である。
3. 各報告者、発言者のうちで、満鉄調査関係者の経歴と著作は、「満鉄調査関係者人名録」を参照されたい。
4. 各報告および質疑応答で触れられている文献については、文献リストを参照する方式をとった。なお、満鉄の刊行物・報告書については、文献リストには南満洲鉄道株式会社と正式名称で表記したが、本文中ではすべて満鉄と表記した。満鉄内の部局の表記は、正式名称である。

例 満鉄庶務部調査課 [1928:858-859]

南満洲鉄道株式会社庶務部調査課【南満洲鉄道株式会社第二次十年史】1928年の858ページから859ページ。

雑誌名については、各報告の初出時に「\*」印を付した。

5. 人名のうち、満鉄調査関係者を中心に満鉄調査関係者人名録を作成した。満鉄調査関係者人名録に収録した人名については、各報告の初出の場合に限り「\*」印を付した。
6. 年号は、日本の元号、満洲国の元号と西暦を併記した。
7. 「満洲国」の表記は、各報告の初出時にはカッコを付したが、後は省略した。
8. 南満洲鉄道株式会社の表記は、二度目に使われるときには、満鉄と表記した。
9. 各報告で使用されている略語などについては、各報告の初出時にカッコ書きで正式名などを付記した。

年号（日本・中国・満洲国）西曆対照表

日 本	満 洲 国	中 華 民 国	西 曆
明治 40			1907
41			1908
42			1909
43			1910
44			1911
45/大正元		民国 元	1912
大正 2		2	1913
3		3	1914
4		4	1915
5		5	1916
6		6	1917
7		7	1918
8		8	1919
9		9	1920
10		10	1921
11		11	1922
12		12	1923
13		13	1924
14		14	1925
15/昭和元		15	1926
昭和 2		16	1927
3		17	1928
4		18	1929
5		19	1930
6		20	1931
7	大同 元	21	1932
8	2	22	1933
9	3/康德元	23	1934
10	2	24	1935
11	3	25	1936
12	4	26	1937
13	5	27	1938
14	6	28	1939
15	7	29	1940
16	8	30	1941
17	9	31	1942
18	10	32	1943
19	11	33	1944
20	12	34	1945